

令和2年度 事業報告

I 概 要

新型コロナウイルスの感染者急増を受け、政府は2020年4月7日、東京など7都府県を対象に緊急事態宣言を発令し、同月16日には全国に拡大しました。

都道府県は、市民に外出自粛や身体的距離の確保、マスク着用といった「新しい生活様式」や在宅勤務などの感染防止策を呼びかけ、また遊興施設や商業施設など幅広い業種に休業を要請しました。

新型コロナウイルス感染拡大は雇用情勢にも多大な影響を及ぼし、厚生労働省が3月30日に発表した2021年2月の有効求人倍率は、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の影響により、前月より0.01ポイント低い1.09倍で、昨年5月以来5ヵ月ぶりに悪化しました。完全失業者数は前年同月比35万人増の194万人で、13ヵ月連続の増加となりました。

因みに、青森県の2021年2月の有効求人倍率は0.89倍となり、新型コロナウイルスによる経済停滞が長期化し、10ヵ月連続で1倍を割り、2015年4月以来の0.8倍台に落ち込みました。一方、当市においては、県内では最も高い1.30倍と唯一の1倍越えの高水準を示しており、依然として人手不足感が顕著となっています。

このようなコロナ禍のなか、当センターは創立40周年という大きな節目を迎えることができました。これもひとえに八戸市はじめ関係機関の絶大なるご支援と、創立から40年の長きに亘る先人の地道な努力の積み重ねが、市民の理解と共感を得るに至った結果であると深く敬意を表し、感謝を申し上げる次第です。本来であれば、会員の皆様とともに創立40周年を盛大に祝うところでありましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、記念式典や祝賀会など主要な事業の中止を余儀なくされたことが非常に残念ではありません。

事業実績については、新型コロナウイルス感染拡大の影響を少なからず受けたことにより、受託事業の減少に歯止めをかけることができませんでした。反面、労働者派遣事業は、職員の積極的な就業開拓により、前年度を上回る実績を確保することができました。また、昨年度受注したA I（人工知能）関連のパソコン入力業務は、新聞等への記事掲載やネット配信などに取り上げられたことで、厚生労働省職員も視察に来八されるなど、その反響の大きさに驚きました。既に就業会員は当初の6名から12名に増員され、全員がリモートワークという新しい働き方で就業しています。

会員数については、コロナの感染拡大により、例年参加しているイベントの中止や入会説明会の人数制限など、会員拡大に対する取組みを縮小せざるをえず、県連合会とも協力しながら拡大を図りましたが、令和2年度会員数の目標を達成することができませんでした。

以下、個別の事業実施状況を報告します。

II 事業実績

1 第6次中期計画

本計画初年度の目標が着実に達成されるよう、積極的かつ効果的な取組みを展開しました。令和2年度目標の達成状況は次のとおりです。

① 目標と実績との対比

会員数は1,360人の目標に対し50人及ばず、達成率は96.3%でした。契約金額は目標額590,000,000円に対し、実績は588,256,710円と目標を下回り、達成率99.7%となりました。就業延人員では達成率92.7%と目標を8,794人日下回りました。就業率は90%の目標に対して、実績は96.0%でした（表1）。

表1 項目別目標の達成状況

項目	令和2年度目標	令和2年度実績	増減	達成率 (%)
会員数 (人)	1,360	1,310	△ 50	96.3
契約金額 (円)	590,000,000	588,256,710	△ 1,743,290	99.7
就業延人員 (人日)	120,000	111,206	△ 8,794	92.7
就業率 (%)	90.0	96.0	6.0	106.7

【各目標値は、受託事業（請負・委任）と労働者派遣事業の合算値】

② 会員登録状況

会員の登録状況は、男性862人・女性448人（表2）、年齢別構成では70歳から74歳までの年齢層が全体の38.8%を占めています（表3）。平均年齢は全体で72.7歳（表4）、最高齢は男性88歳・女性92歳となっています（表5）。

表2 男女別構成

区分	令和2年度	令和元年度	増減
男性 (人)	862	878	△ 16
女性 (人)	448	475	△ 27
合計 (人)	1,310	1,353	△ 43

表3 年齢別構成

区分	男 (人)	女 (人)	合計 (人)	構成比 (%)
60歳未満	4	1	5	0.4
60～64歳	42	25	67	5.1
65～69歳	240	96	336	25.6
70～74歳	331	177	508	38.8
75～79歳	170	94	264	20.2
80歳以上	75	55	130	9.9
合計	862	448	1,310	

表4 平均年齢

男性	女性	全体
72.5歳	73.2歳	72.7歳

表5 最高年齢

男性	女性
88歳	92歳

Ⅲ 事業実施報告

1 就業機会提供事業

多様化する会員の働き方に対応するため、シルバー事業の根幹をなす受託事業のほか労働者派遣事業または有料職業紹介事業のいわゆる『事業の3本の柱』を基礎に、それぞれの仕組みに応じた活用を図り、就業機会の提供拡大に取り組みました。

(1) 受託事業（請負・委任）の拡大

会員の就業機会の確保に向けた潜在的な地域ニーズの掘り起こしや新たな就業分野の開拓を行うなど、センターの根幹をなす事業の一層の拡大に取り組みましたが、実績はコロナ感染症の影響もあり、対前年比で減少となりました（表6）。

職群別契約金額の構成比では、大工・塗装・庭木剪定などの技能群、施設管理や物品管理などの管理群、屋内外軽作業など一般作業群の3職群で全体の94.2%を占めています（表7）。

表6 受託事業実績

項目	令和2年度	令和元年度	増減	対前年度比(%)
契約金額(円)	368,233,486	378,399,826	△ 10,166,340	97.3
就業延人員(人日)	81,351	88,399	△ 7,048	92.0

表7 職群別事業実績

職群別	受注件数(件)	就業延人員(人日)	契約金額(円)	構成比(%)
技術群	13	598	4,144,258	1.1
技能群	1,613	9,369	48,463,640	13.2
事務群	218	4,779	5,581,098	1.5
管理群	74	32,380	121,596,701	33.0
折衝外交群	1	169	1,219,167	0.3
一般作業群	2,637	31,457	176,723,012	48.0
サービス群	269	2,599	10,505,610	2.9
その他	0	0	0	-
合計	4,825	81,351	368,233,486	

(2) 労働者派遣事業（シルバー派遣）の推進

シルバー事業の適正化の推進とともに多様化する就業形態に対応するため、労働者派遣事業を積極的に推進し、就業機会の拡大に努めました。実績は次のとおりです（表8）。

表8 労働者派遣事業実績

項目	令和2年度	令和元年度	増減	対前年度比(%)
契約金額(円)	220,023,224	204,151,814	15,871,410	107.8
就業延人員(人日)	29,855	29,545	310	101.0

(3) 有料職業紹介事業の推進

臨時的、短期的またはその他の軽易な業務の雇用就業を希望する高齢者に対する有料職業紹介事業を推進しました。実績は次のとおりです(表9)。

表9 有料職業紹介事業実績

区分	求人件数(件)	求人数(人)	紹介者数(人)	就職者数(人)
令和2年度	13	39	39	39
令和元年度	40	153	153	153

2 就業機会確保事業

(1) 安全・適正就業対策の強化

① 安全就業対策

安全意識の徹底とその高揚を図り、事故の根絶に向けた取組みを下記のとおり実施しましたが、実施予定の安全講習及び職群班安全研修の一部については、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため急遽中止となりました。

令和2年度の傷害事故発生件数は令和元年度と比較して、4件の減少となりましたが、損害事故は9件増加しました(表10)。

○ 具体的取組

ア 安全・適正就業委員会による安全パトロールの実施(表11)

イ 安全講習・研修の実施(表12-1、12-2)

ウ 公園班・草刈班に対する飛び石防止用防護ネットの貸与

エ 事務局休業日および夜間における緊急連絡体制の整備

オ 「事務局だより」を活用した安全就業および健康管理に関する情報の提供

カ シルバー保険(傷害・賠償責任)及び個人情報漏えい保険への加入の推進

キ 熱中症見舞金制度への加入

ク 新型コロナウイルス及びインフルエンザ予防のためのマスクの配付

表10 事故発生状況

	令和2年度	令和元年度	増減
傷害事故(件)	5	9	△ 4
損害事故(件)	12	3	9
合計	17	12	5

表11 安全パトロール

期 日	場 所
8月11日	桔梗野工業団地ほか2ヵ所
8月13日	東霊園ほか2ヵ所
9月1日	ふれあい散歩道ほか2ヵ所

表12-1 安全講習

講 習 会 名	期 日	場 所 等	受講者数(人)
刈払機安全操作講習	3月11日～31日	テキストによる 簡易講習	13
送迎運転講習	3月17日～31日		20
合 計			33
普通救命講習	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止		
交通安全教室			

表12-2 安全研修

職 群 班	期 日	場 所
公 園 班	3月17日	児童科学館
庭 木 班	3月24日	福祉公民館
草 刈 班	3月31日	福祉公民館

② 適正就業対策

受託事業から派遣事業への移行やローテーション就業の拡大または職業紹介事業の積極的活用を推進することにより、就業の適正化に努めました。

(2) 普及啓発事業の展開

シルバー事業の理念や仕組み等を地域社会に広く周知するとともに、働くことに特化することなく、生きがいや居場所づくりを目的とした啓発による入会促進、さらに地域貢献や地域の信頼を得るための活動を普及啓発委員会を中心に実施しました。

尚、「はちのへシルバー人材センター生き活きまつり」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としました。

○ 活動内容

- ア 市内全域へのチラシの配布
- イ バス車内アナウンスによる広報
- ウ 公共施設へのポスターの掲示・会報『黄菊』及びパンフレットの配置
- エ ホームページを活用した入会の受付及び広報
- オ 八戸テレビやBeFMなどマスメディアを通じた情報の発信
- カ ボランティア活動の実施(表13)
- キ 入会説明会開催によるシルバー事業の啓発
- ク 青森県シルバー人材センター連合会主催イベント等への協力
- ケ 業種別事業所へのダイレクトメールの送付

表13 ボランティア活動

場 所	期 日	活 動 内 容	参加者数 (人)	備 考
新 都 市 緑 地	10月28日	雑 木 除 伐	26	公 園 班
田 向 五 丁 目 緑 地	11月16日	草 刈 等	11	草 刈 班
売 市 歩 行 者 道 路 専 用 道 路	11月19日	樹 木 剪 定 等	29	庭 木 班
合 計			66	

(3) 就業開拓提供事業の展開

新たな就業分野の掘り起こしや就業機会の拡大を図るため、役職員による民間事業所及び公共団体等への訪問による就業開拓を展開し、会員の希望する仕事の提供に努めました。またホームページからの仕事の申し込みやコンビニエンスストアからの代金支払いを可能とする「エイジレス80アクティブ」を継続導入し、受注事務の迅速化・簡略化並びに入金事務の効率化を一層推進することで発注者に対する利便の向上を図るとともに、商工会議所発行の商工ニュースを通じて、民間事業所など約4,000社に対し、9月と3月に発注依頼のチラシを送付するなど受注の拡大に努めました。

(4) 講習・研修事業の実施

会員の知識・技能の習得並びに向上を図るとともに就業機会の拡大に資するため、次のとおり講習および研修を実施しました（表15）。

表15 技能講習・職群班研修等

講 習 会 名	期 日	場 所 等	受講者数 (人)
草刈講習	11月16日	田 向 五 丁 目 緑 地	11
庭木剪定講習 (青森県SC連合会主催)	3月2日～3日	東 運 動 公 園	20
接遇講習	3月11日～31日	テキストによる簡易講習	49
雪囲い研修	12月10日	東 運 動 公 園	26
毛筆筆耕研修	5月～3月(随時)	福 祉 公 民 館	26
合 計			132
八戸市訪問型サービスA訪問 支援員養成研修(八戸市主催)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止		
庭木剪定講習(センター主催)			
家事援助講習			

3 情報の提供等

講習の開催日程や行事の諸連絡及び安全就業推進のための情報並びに就業会員募集等、すべての会員に情報を提供するため、事務局だよりを発行しました。

また、一般市民に対する情報提供を強化するため、ホームページの利用促進を図るとともに会報『黄菊』を公民館等24施設に配置をしました（表16）。

表16 情報の提供

項 目	回 数	対 象 者	備 考
事務局だより	年6回	会 員	奇数月の発行
会報『黄菊』	年1回	会 員・一般市民	公民館等24施設に配置
ホームページ	随時	会 員・一般市民	

4 福利厚生の充実

シルバー人材センター団体傷害保険や熱中症見舞金制度への加入を推進するとともに「事務局だより」を通じて熱中症・インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症予防に関する手洗い、うがいの励行、マスクの着用及びソーシャルディスタンス・ゼロ密の呼びかけや安全・適正就業委員会によるマスクの配付を行うなど、会員の健康維持・増進を図りました。また、新入会員に対するSCマーク入り作業帽の頒布や永年在籍会員の表彰を行いました。毎年恒例の日帰り研修旅行は、新型コロナウイルス感染拡大により中止としました。

5 創立40周年記念事業の実施

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、事業を中止または縮小して実施しました（表17）。

表17

事 業 名	実 施 状 況
創立40周年記念式典・祝賀会	中 止
発注者表彰	中 止
会員特別表彰	地域班長7名 職群班長1名
記念品の配付	クーラーバック配付
創立40周年記念誌の編纂	「40年のあゆみ」発行

6 諸会議の開催

センターの維持管理および事業運営の執行に関して必要な会議を、次のとおり開催しました（表18-1、表18-2）。

表18-1 定款に定める会議

会 議 名	開 催 年 月 日	開 催 場 所 等
定 時 総 会	令和2年 6月16日	福祉公民館
理 事 会	令和2年 4月28日	決議の省略
	令和2年 9月10日	福祉公民館
	令和3年 3月18日	福祉公民館

表18-2 その他の会議

会 議 名	開 催 年 月 日	開 催 場 所
安全・適正就業委員会	令和2年 9月 4日	福祉公民館
普及啓発委員会	令和2年 7月 9日 令和2年 8月 6日 令和2年10月 8日 令和3年 2月19日	福祉公民館
班長連絡会議	令和3年 1月28日	福祉公民館